

貯法：室温保存
有効期間：4年
規制区分
劇薬

鎮咳去たん剤
日本薬局方

キョウニン水

キョウニン水「ケンエー」
Apricot Kernel Water「KENEI」

日本標準商品分類番号

872241

承認番号 16100AMZ01224

販売開始 1986年3月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

ジスルフィラム、シアナミド、カルモフル、プロカルバジン塩酸塩を投与中の患者 [10.1参照]

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	1 mL中 日局 キョウニン水 1 mL
------	-------------------------

3.2 製剤の性状

性状	無色～微黄色澄明の液で、ベンズアルデヒド様におい及び特異な味がある。
pH	3.5～5.0

4. 効能又は効果

急性気管支炎に伴う咳嗽及び喀痰咯出困難

6. 用法及び用量

キョウニン水として、通常成人1日3 mLを3～4回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

但し、極量として、1回2 mL、1日6 mLをこえないものとする。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.7 小児等

投与を避けること。副作用が発現しやすい。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

10. 相互作用

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジスルフィラム（ノックピン） シアナミド（シアナマイド） カルモフル プロカルバジン塩酸塩 [2.参照]	これらの薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、血圧低下、悪心、頻脈、めまい、呼吸困難、視力低下等）を起こすおそれがある。	本剤はエタノールを含有しているため。

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
N-メチルテトラゾールチオメチル基を有するセフェム系抗生物質 セフメノキシム塩酸塩 セフォペラゾンナトリウム セフミノクスナトリウム水和物 セフメタゾールナトリウム ラタモキシセファトリウム メトロニダゾール	これらの薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、悪心、頻脈、多汗、頭痛等）を起こすおそれがある。	本剤はエタノールを含有しているため。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
大量投与	悪心・嘔吐、下痢、めまい、頭痛、瞳孔散大、心悸亢進、過呼吸、チアノーゼ、意識喪失、窒息性痙攣

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

キョウニン水の詳細な機序は明確ではないが、モルモットのヒスタミンによる気管平滑筋の収縮を抑制したとの報告がある¹⁾。

20. 取扱い上の注意

光線及び熱によって変化しやすいので、涼しい暗所で保存のこと¹⁾。

22. 包装

500 mL（ガラス瓶（褐色））

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書。廣川書店。2021：D-269-273

24. 文献請求先及び問い合わせ先

健栄製薬株式会社 学術情報部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号（06）6231-5822
FAX番号（06）6204-0750

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

 健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号